

認知運動療法を活かした 生活への適応化の取り組み

～ 脳卒中により感覚障害を呈した一症例 ～

南東北春日リハビリテーション病院
理学療法部門

庄子久美子 根本悠平 平野雄三



脳卒中リハビリテーション

運動障害



他者から見え易い障害

目に見える障害へのリハ

感覚障害



他者から見えにくい障害

リハへの阻害因子

認知運動療法

cognitive therapeutic exercise



イタリアの神経科医Carlo Perfettiにより提唱

「運動療法の目的は
運動の認知過程への適切な介入である」

日本認知運動療法研究会
The Japanese Society of Cognitive Therapeutic Exercise

認知理論に基づいた訓練
運動障害だけでなく、感覚障害
などへも配慮したアプローチ



日常生活に直結しない訓練

認知運動療法と環境を
どう組み合わせるか？

脳卒中患者一症例を通して検討



症例紹介

71歳 女性

H19/6/26: 自宅で倒れ入院
脳出血(右橋・脳幹出血)
左片麻痺出現

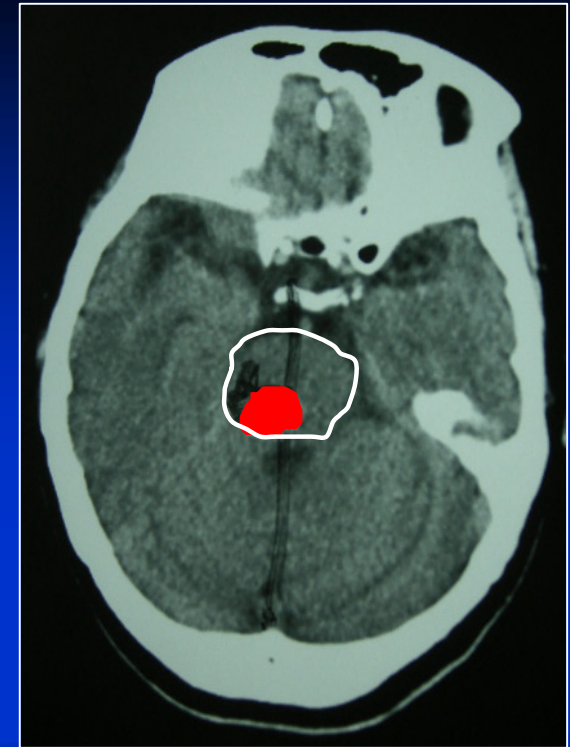


H19/7/23: 当院(回復期)へ転院

運動障害の程度: 上肢 手指 下肢

日常生活動作: BI 54点 移乗などに一部介助を要す

痛み・痺れなどの異常感覚が認められ増悪していた



感覚障害に対する評価

(1) 感覚機能の評価

本人の訴え

「手がどこにあるか分からない」
「痺れるだけ」

感覚機能評価

表在 まったく分からない
深部 ほとんど分からない

異常感覚のみを感じている状態

(2) 感覚障害と生活機能との評価



食事場面において左手
の食器を落としてしまう

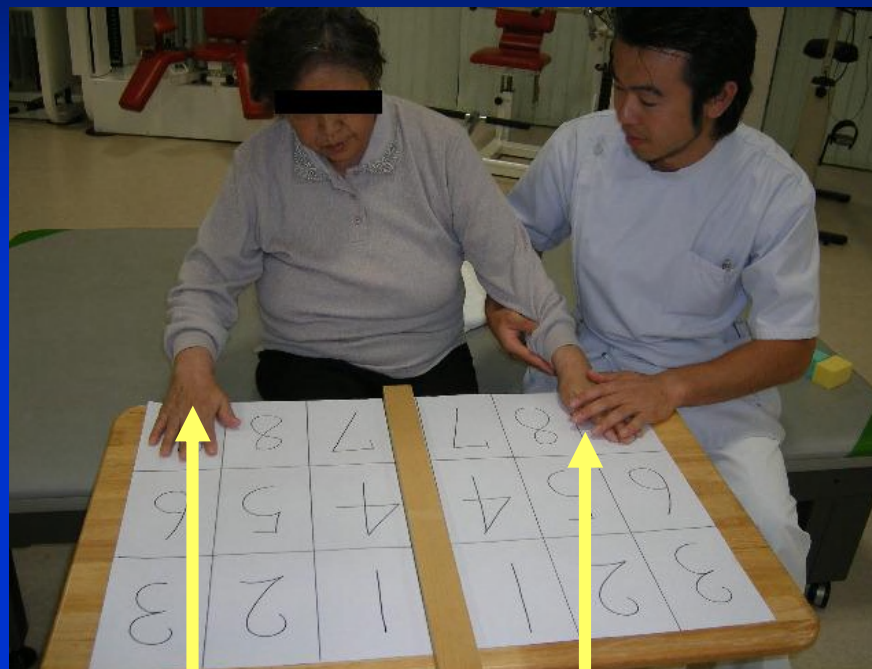
方法

本症例に対し以下のアプローチを行った

- (1) 認知運動療法を用いたアプローチ
感覚機能に対しての介入
- (2) 環境設定
食事動作場面への直接的な介入

アプローチ 認知運動療法

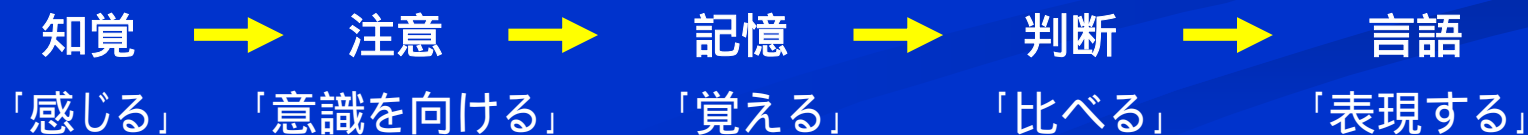
深部感覚の訓練 (位置・方向)



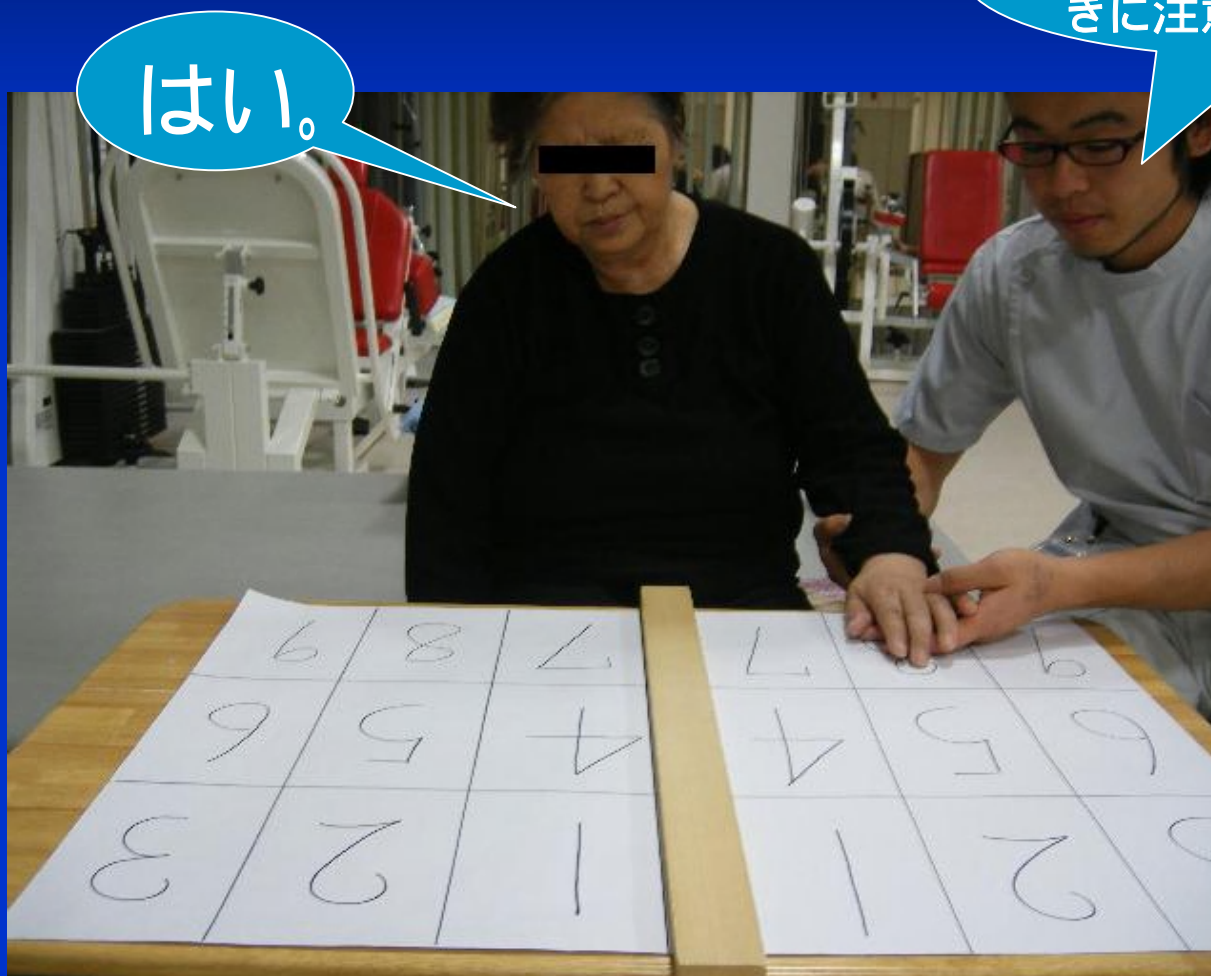
非麻痺側

麻痺側

認知運動療法のポイント



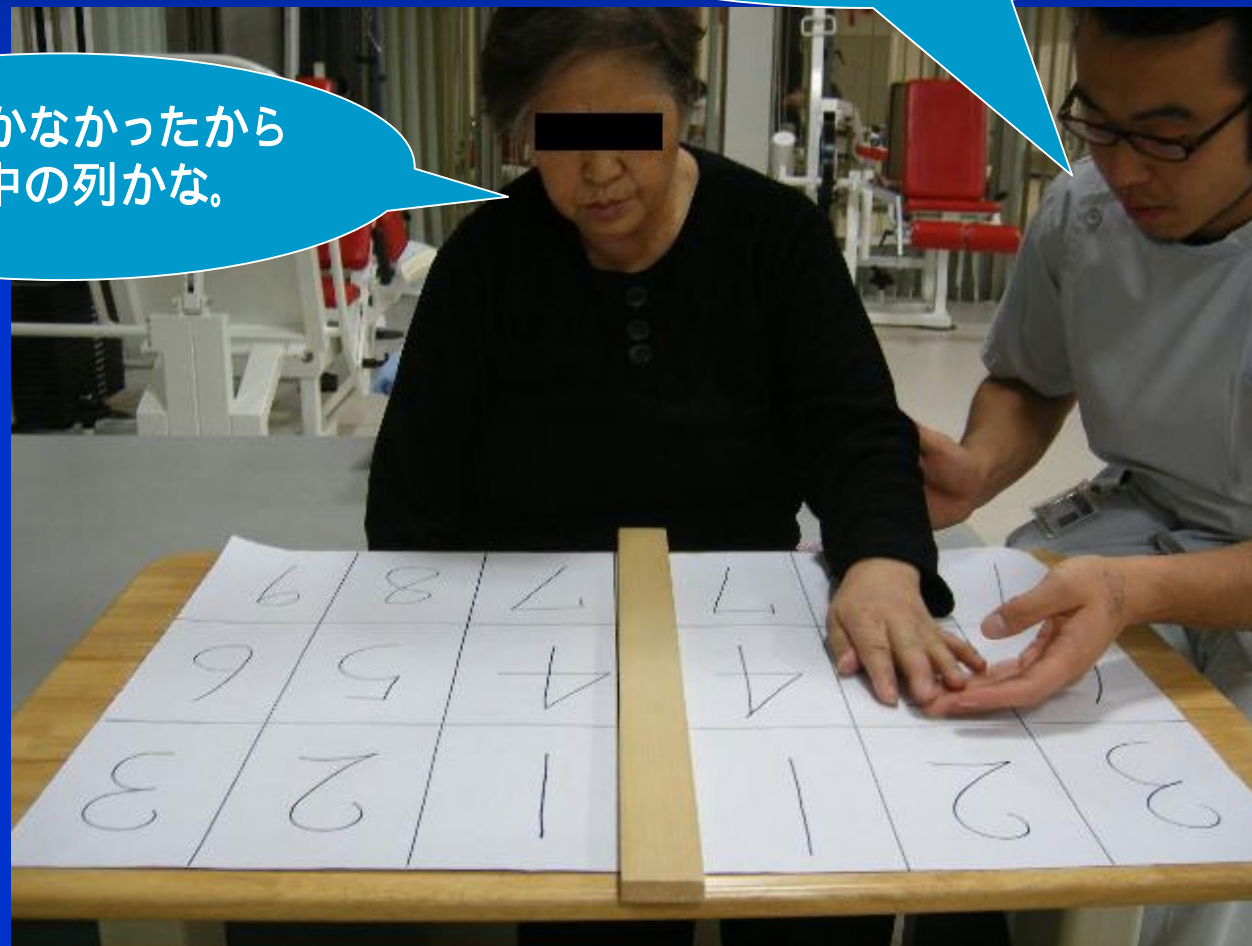
訓練場面



訓練場面

動かしました。
どの様に動きましたか？

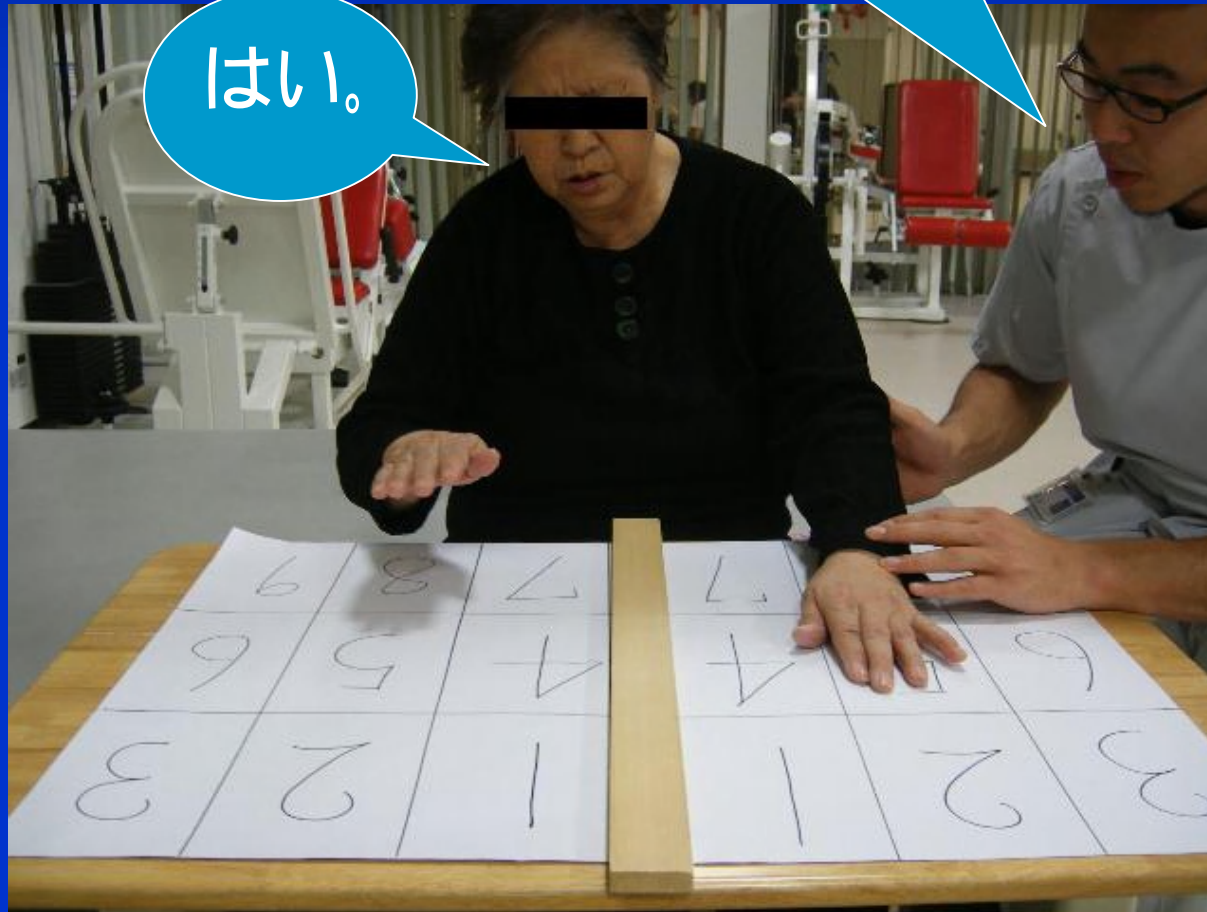
脇が開かなかったから
真ん中の列かな。



訓練場面

反対の手を対照的な位置に置いて下さい。

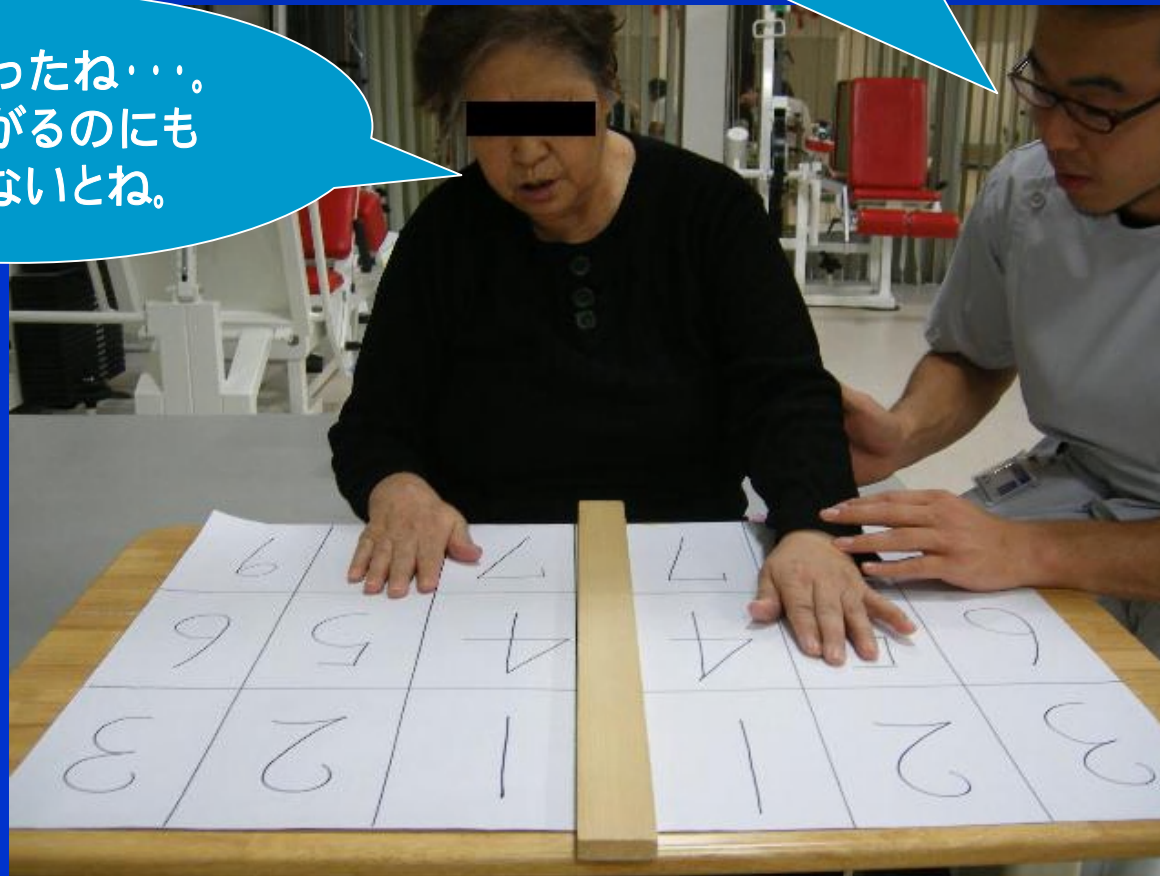
はい。



訓練場面

目を開けて下さい。
正解するには
何に注意すればいいですか？

外れちゃったね…。
腕が上がるのにも
注意しないとね。



結果

感覚機能の変化

本人の訴え

「手がどこにあるか分からない」
「痺れるだけ」



「手がどこにあるか分かる」

感覚機能評価

表在	まったく分からない	→	痺れ・痛みの軽減
深部	ほとんど分からない	→	ほぼ分かる

しかし、食事場面では左手の使用は消極的であった

アプローチ 環境設定



左手が視界の外になると
食器を落とす

リハスタッフが
食事場面に直接介入



食器に注意を向ける為に
視界に左手を入れた食器配置

看護・介護スタッフと連携し、
毎回の食事場面でのチェックを行った

結果

生活機能の変化



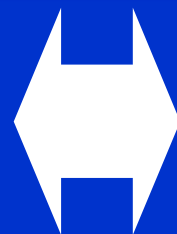
食器を落とすことが無くなった

訓練と生活を繋げる事が出来た！

考察 感覚障害と認知運動療法

脳卒中感覚障害へのアプローチ

従来の運動療法
消極的な介入



認知運動療法
積極的な介入

認知過程を活性化させたことで
感覚障害が改善された

考察 機能と生活の視点

認知運動療法

感覚障害には
一定の改善あり

ギャップ

日常生活動作

生活そのものには
変化なし



「環境」へのアプローチ
- 生活の現場(食事場面)に直接介入 -

より包括的なアプローチにより
生活に直結させる事が出来た

まとめ

生活の視点

両手を使用した食事動作の
実現

認知運動療法

感覚の向上

患者の認知過程の活性化

相互作用

環境

食器の操作法・
セッティングの指導

患者の認知機能を考慮した指導

おわりに

障害と生活を結びつける
リハビリテーション

回復期リハビリテーション病院としての役割



患者様の
生活を意識した
QOLの向上

